

| | | | | |
|------------|---|------|-----|---|
| ふりがな 氏名 | すぎやま ともり | 都道府県 | 愛知県 |  |
| | 杉山 友規 | | | |
| 所属/肩書 | 名古屋国際中学校・高等学校 / 教諭 | | | |
| 私のESD活動 | 国際ボランティア研修の運営とフェアトレード学習活動、SGH アソシエイト校としての取り組み | | | |

活動の概要

1. 国際ボランティア研修の運営とフェアトレード学習活動

高校 2 年生を対象としたフィリピンでの海外研修に関して、帰国後の国際ボランティア研修を担当。具体的には、現地校とのインターネット通話を用いた交流活動の運営や、認定 NPO 法人アイキャンと連携して行うフェアトレード商品の販売学習(2013 年度 JICA グローバル教育コンクール・グローバル教育取組部門佳作受賞)の運営を行なっている。地域企業と連携し、本校独自のフェアトレードコーヒー商品を継続的に製作する一方で、昨年度はそれらをカーボンオフセット商品として企画・販売し、学習の幅を広げた。また、校内にてフィリピンのストリートチルドレンの社会復帰を支援する街頭募金活動への参加呼びかけも実施し、現在では研修参加者が自主的に仲間を集めながら活動の輪を広げている。

2. SGH アソシエイト校としての取り組み

文部科学省スーパーグローバルハイスクール・アソシエイト校指定(2015 年度)を受け、本校では昨年度よりアクティブ・ラーニング形式の学校設定科目「SIA(Sustainability in Action!) 特論」を開講している。私は授業担当者として、本校の ESD 探究テーマ「経済活動と貧困」、「多文化共生と減災」、「社会生活と循環」に関する社会課題を議論・発表する授業を行なっている。また、年次活動報告会では 2015 年度に報告会運営リーダーを務め、2016 年度には公開授業(SIA 特論)を担当した。

○「名古屋国際中学校・高等学校」(SGH アソシエイト分野) <http://www.nihs.ed.jp/sgh/entry-395.html>

今後の活動や協働への展望

私は、キャリア教育こそが中高生を指導する教員としてできる ESD への最大の貢献だと考えています。生徒と共に校内で ESD 活動を実践し、そこで得た学びや経験をもとに進路指導を行いたいと考えています。本校は昨年度より ESD 重点校形成事業サステナブル・スクールの認定校となり、中学生を中心に気候変動に関する学習を進めています。中学課程において環境学習を通じ、国際的な課題に目を向け、高校課程では多くの生徒が多様な分野に興味を持ち、ESD 活動の実践に取り組んで行くこと目標としています。そして、生徒たちが社会に出て次世代の ESD 活動の担い手となり、ESD 全体の発展に寄与してもらいたいと願っています。

教員である私の校内での役割は、生徒に ESD 活動の選択肢を提供することです。現在、中学生では環境問題・貧困問題に関して自治体の環境調査への協力や、企業の CSR 活動に参加しています。高校生は独自のフェアトレードコーヒーの製作、および新規活動として難民支援活動などの取り組みを実践中です。今後も、協力機関との連携を強化し、生徒が自ら参加する活動を選び、自発的に国際貢献に接する態度を養える環境を整えることで、ESD に求められる人格の発達を推進したいと考えています。私は ESD 日本ユースの一員として、一人でも多くの若手人材に ESD 活動に参加してほしいと思っており、様々な年齢層に活動を呼びかけながら ESD 活動を広げていきたいと思っています。